

# 中国新聞

9月12日(木)

発行所  
広島市中区土橋町7番1号  
〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)

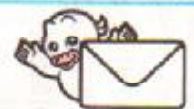
郵便振替口座 01370-0-57

ホームページ

<http://www.chugoku-np.co.jp/>

紙面へのご意見・ご要望は

読者広報部 ☎082-236-2455



ちゅーピーメルマガ

無料 登録受付中!

[chink@chupea-club.jp](mailto:chink@chupea-club.jp)

へ空メール送信!

## 線部可 電化延伸1年遅れも

### JR西 踏切新設で国と調整

2015年3月の開業を目標としていたJR可部線可部―旧河戸間(広島市安佐北区)の電化延伸計画が1年遅れる可能性があることが11日、分かった。踏切の新設などをめぐり国との調整に時間がかかっていることが原因。JR西日本は近く国に申請する予定だが、原則、新設を認めないという。電化延伸は大幅なダイヤ改正を伴う。当初、市とJRは、15年3月の開業に向け、今夏までに国土交通省に事業許可を申請し、早ければ秋に古いレールの撤去などに着手する計画だった。同年春のダイヤ改正を開業のタイミングに見込んでいたが、事業申請が遅れたため着工が遅れ、翌年春の改正にずれこみそうだった。



JR西日本広島支社の杉岡篤支社長は6日の定例記者会見で「若干時間がかかっているが、作業は大詰めを迎えた」と説明していた。電化延伸計画の対象となっている可部―旧河戸間は、03年11月末に廃止。周辺の人口増を踏まえ13年2月、市とJRが電化による復活で合意した。総事業費は約27億円で、国から3分の1の補助を受けて市が負担する。

(中川雅晴)

クリック

JR可部線の電化延伸計画 JR可部線は1969年、横川(広島市)―三段峽(旧広島県戸河内町)間で全線開通。横川―可部(安佐北区)間は電化されていたが、それ以北はディーゼル区間だった。JRは利用者減などを理由に2003年11月末、ディーゼル区間の可部―三段峽間(46・2キロ)を廃止。中やJR西日本などをつくる可部線活性化協議会は廃止区間の一部となる可部―旧河戸間(1・6キロ)について、08年から電化延伸による復活を検討していた。中間駅と終点駅を新設する。